

第1回情報化推進懇談会 各委員の分類別ご意見・中間見直しへの反映方針

分類	内容（要旨）	中間見直しへの反映方針
市のビジョン	<p>自治体DX推進計画が必要となった背景には、新型コロナウイルス感染症の対応のほか、少子高齢化や災害対応、地域課題の複雑化があるのではないかと考えている。</p> <p>なぜ必要となっているのか、しっかりと示していく必要がある。</p> <p>DXは組織を変えていくことが目的で、行政としては一生懸命取り組んでいることをもっとアピールしていったよと考える。</p> <p>一方、地域の情報化は行政だけで行うことは不可能で、呼び水が行政の役割で、そのあとは市民にバトンタッチし、市民と共に進めていく必要があることをきっちりと伝えていくべきである。</p> <p>ICT化が進むと、やはり取り残される方もいるので、社会福祉協議会でも、生活支援コーディネーターが中心となって、高齢者の方を対象にLINEの教室を地域で進めているが、高齢者の方には、やはり丁寧にそしてゆっくりとご支援をすることが大事と考える。</p> <p>行政としてはそういった活動をしっかりサポートしていただき、誰も取り残さない情報化を進めていただきたい。</p> <p>デジタル化を受けるのは人間であるが、人間はアナログであるので、安全であることに加えて安心であることも必要である。</p> <p>安全は数値などで基準を示すことも可能であるが、安心を基準で示すことはできない。</p> <p>安全に加えて安心も大事といった視点を持ってデジタル化を進める必要である。</p>	<p>【基本理念】の見直し</p> <p>第4期情報化推進計画の基本理念（第5章計画の全体像）に、第1回懇談会で各委員からいただいた情報化推進で目指すべき「市のビジョン」に関するご意見（下記7つのキーワード）を基本理念に反映する。</p> <p>①災害、感染症への対応 ②地域課題の複雑化 ③DXの推進 ④組織を変えていく ⑤市民と共に進めていく ⑥誰一人取り残さない ⑦安全と安心（安全＜安心）</p>
デジタルデバインド対策	<p>市が環境を整備してIT化を進めても、住民（受け手側）の能力がなければ意味がないと思う。</p> <p>例えば学校現場、介護福祉、社会福祉関係の能力不足を補う窓口・サポートの体制を、市でお金をかけて整備していくべきである。</p> <p>自治体からITの恩恵を受けられていない住民に対して、デジタルデバインド対策としてプッシュ型の情報開示も必要である。</p> <p>なりすましやデジタルについて来れない住民へ、どのように対応していくのか検討が必要ではないか。</p> <p>デジタルの利便性を知らなかったり、食わず嫌いのままで終わってしまうのは、非常にもったいないと思う。</p> <p>市民公益活動センターで、市民活動の一つの形として、ICT活用のサポートもやっているが、デジタル化推進のためには、人が何かしら介在し、安心して使っていただける環境を作る必要がある。</p> <p>丁寧に説明しながら、地域で皆さんが繋がり合うことで、対面以外の方法もあるということを知っていただく必要があると考える。</p>	<p>【基本理念】の見直し</p> <p>デジタルデバインド対策については、ICTの利活用を推進するにあたり、すべてのアクションプランに関わるものであるため、「誰一人取り残さない」という文言を基本理念に追加する。</p> <p>【アクションプラン⑤ホームページ等における情報発信の充実】の見直し</p> <p>デジタルデバインド対策の一つとして、ウェブアクセシビリティを推進しているところであるため、デジタルデバインド対策の取組であることを明示する。</p>

分類	内容（要旨）	中間見直しへの反映方針
情報開示	<p>自治体同士の連携も必要である。自治体によって、DXが進んでいるところ・進んでいないところがあると思う。</p> <p>例えば、進んでいるような自治体のこういったところを参考にしているのか情報開示を行うべきである。</p> <p>デジタル化を進めるためには、パートナー選定が重要である。吹田市は大学・医療機関がたくさんあり、また市内で最先端技術の開発ができる企業もあるので、産業育成も踏まえて選定を行うべきである。</p> <p>DXは、デジタルを使った改革になるので、自治体だけで行うことは不可能であり、パートナー選びも重要である。</p> <p>どのパートナーを選定し、なぜ選定したのかを情報開示していただきたい。</p> <p>行政の情報化をもっと市民に知っていただく必要がある。</p> <p>例えば、1,500億円が支出される17業務のシステム標準化は市民の大部分は知らないと思う。</p>	<p>【アクションプラン⑤ホームページにおける情報発信の充実】の見直し</p> <p>吹田市において、情報化をどのように進めているか・進めていくかを示すため、市のIT施策について、毎年度ホームページで公開することをアクションプランに追加する。</p> <p>【アクションプラン⑨最新技術の活用と調査研究】の見直し</p> <p>学術経験者や大阪府が主催する産学官連携の取組に関するセミナー等に、積極的に参加し、情報収集に努める旨をアクションプランに追加する。</p> <p>【アクションプラン⑳情報システムの標準化・共通化】の追加</p> <p>標準化法の成立により、各地方公共団体に義務付けられた情報システム等の標準化・共通化への対応に関するアクションプランを追加する。</p>
マイナンバーカード	<p>マイナンバーカードの普及が、まだ50%もっていないという状況の中で、吹田市としてどのようなマイナンバーカードの活用方法を考えているのか。</p> <p>マイナンバーカード、免許証、健康保険証を一括管理することで、高齢者の免許更新時などに分析ができるのではないかと。</p> <p>地域の情報化、市民と行政のコミュニケーションのベースとなるのはマイナンバーカードしかないと思うが、マイナンバーカードは地方自治体が出したのではなく、国が作ったものであることを市民はほとんど知らない。</p> <p>こういったものであるのか、何をやっていくのか伝えていくべきである。</p>	<p>【アクションプラン①手続の電子化】の見直し</p> <p>吹田市として最優先で取り組むべき課題と考えている手続のオンライン化の推進において、マイナンバーカードの利活用を促し、さらなる加速化のための見直しを行う。</p> <p>マイナンバーカードの普及については、吹田市は全国平均水準となっている。国主体で推進しているところであるが、吹田市としてもしっかりと普及に向けた取組を継続していく。</p> <p>【アクションプラン⑳キャッシュレス決済の導入拡充】の追加</p> <p>手続のオンライン化の推進のため、マイナンバーカードの利活用を促しつつ、手続と同時にキャッシュレス決済ができる等、更なる市民の利便性向上を図るため、アクションプランを追加する。</p>
施設Web予約	<p>24時間予約状況が見えるというところは非常によいが、仮予約までしかできず、実際は施設に足を運ばないと予約が完了しない。決済まですべてWebで完了できるようにするべきではないか。</p> <p>また、吹田市内で複数の予約システムが存在しており、パスワード管理等が煩雑である。</p>	<p>【アクションプラン⑳キャッシュレス決済の導入拡充】の追加</p> <p>施設Web予約での決済については、アクションプランとして追加するキャッシュレス決済の導入拡充において、市民の利便性向上を図るため、積極的に推進を行う。</p> <p>【アクションプラン④Web施設予約システムの導入】の見直し</p> <p>吹田市では施設の設置の目的や特性に合わせるため、複数の施設Web予約システムや利用者IDを別にすることにより、施設の設置の目的や特性に基づく運営管理をおこなっている。一方、「Web手続き等を行える施設数」については、さらなる増加を図っていく必要がある。市民目線で分かりやすい指標とするため、成果目標を「各施設の稼働率」から「Web手続き等を行える施設数」に見直しを行う。</p>

分類	内容（要旨）	中間見直しへの反映方針
公衆無線LAN	一定時間ごとにパスワードが求められるのが不便である。 公共の場では、使いやすいWi-Fi環境の整備が必要ではないか。	【アクションプラン⑧施設のICT環境の充実】の見直し 公衆無線LANの整備については、「防災・防犯」の取組テーマの下で、避難所施設を中心に整備しているが、その他の施設についても費用対効果等を精査しながら、令和5年度までに対象施設を増やしていく旨、全庁的な整備方針を策定している。評価指標については、整備による市民サービスの向上がより分かりやすくなるように、「アクセス数」から「（避難所施設に対する）整備率」に変更する。
	Wi-Fi環境に関して、吹田市でも各設備に光ファイバーが整備されているが、光ファイバーから先が脆弱と 考えている。 例えば、5Gを展開していくなどインフラ整備が必要ではないか。	【その他】 パスワード等のセキュリティ対策については、セキュリティ上のリスクが高い「公衆無線LAN」という技術の性質上、利用者保護のために必須のものと考えているが、利便性向上とのバランスを失わないよう、各施設の個別事情等も踏まえながら、より良い方法を検討していく。 5G等の次世代高速通信の活用については、技術自体が市場に十分浸透していないことから、評価指標等への具体的な反映は現時点では難しいが、今後の普及状況等を注視しながら、本格的な整備の検討を進めていきたいと考えている。
先端技術	本日使用しているZoomだとUDトークなどの自動で記録をとる便利なツールなどもある。 先端技術を活用し、こういったご時世だからこそ、自治体では、いつも以上に高付加価値業務に時間を使うべき と考える。	【アクションプラン⑩最新技術の活用と調査研究】の見直し 先端技術を活用することで、職員の高付加価値業務への従事をさらに向上させるべく、 成果目標の削減時間を上方修正の見直しを行う。
情報セキュリティ	デジタル化を進めると、データ流出等のリスクが高まることとなるため、情報セキュリティ体制をどう整備して いくか、またデジタル化に関して法的な制限があり、法律の整備も必要だと考えているが、どのように整備して いくのかも示していくべきである。 手続のオンライン化などを進めていくうえでは、マイナンバーを利活用するのがよいと考えるが、個人を特定す るIDの管理が課題と考える。	【アクションプラン⑩情報セキュリティの強化】の見直し 情報セキュリティ体制強化のため、職員の情報セキュリティ研修受講を必須とし、また 外部監査の実施を前提とした見直しを行う。 更に、情報セキュリティ研修の内容の充実及び外部監査の実施により、個人情報を含む 情報資産の取扱への対応について強化を図る。

第1回情報化推進懇談会 事前質問のうち事務局にて検討する旨を回答した項目

分類	内容	中間見直しへの反映方針
事前意見	【アクションプラン②コンビニエンスストア等での証明交付の拡充】について 実績が令和4年度目標も達成しています。最終目標達成値は設定されているのでしょうか。また、この利用件数 ペースを見ると目標達成時期も早まると見れます。リスキされるのでしょうか。	【アクションプラン②コンビニエンスストア等での証明交付の拡充】の見直し マイナンバーカードの普及率が国の施策の影響等により大幅に伸びたため、コンビニエ ンスストアでの証明交付割合も増加し、目標を達成したことから、成果目標の見直しを 行う。
	【アクションプラン⑤ホームページにおける情報発信の充実】について 進捗状況に実績が目標を超えたことに関して、SNSの連動に触れてもいいのではないのでしょうか？	【アクションプラン⑤ホームページにおける情報発信の充実】の見直し 現在ホームページ管理システム（CMS）を再構築しており、情報発信の強化に努めて いる。また、更なる情報発信の強化を図るため、吹田市役所公式SNSの登録者の拡大 に向けた取組みを成果目標に追加する。